



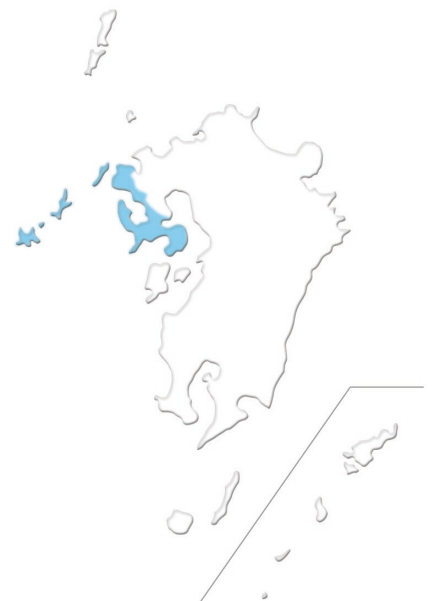
環境に優しい企業活動を目指して



ペーロン大会

'07

長崎支店環境アクションレポート



ずっと先まで、明るくしたい。

ごあいさつ

九州電力株式会社長崎支店は、安定した電力の供給を通じて、お客さまから信頼され認められる企業を目指した事業活動を展開しており、2002年7月に環境管理の国際規定であるISO14001(環境マネジメントシステム)の認証を取得し、支店職場全社員が環境活動に積極的に取り組んでいます。

具体的には「すべての事業活動において、環境保全意識の重要性を認識し、長崎の緑豊かな自然に配慮した、環境に優しい企業活動を推進してまいります」という理念のもと、

- 環境に関する法規制等の遵守
- 消費活動によるCO₂排出量及び紙使用量の削減とリサイクルを推進し、循環型社会づくりを形成
- 地域社会との対話を大切にし、環境教育の充実、植林活動の実施支援、環境配慮型製品の普及促進

など、5項目の基本方針を定め、環境に配慮した行動を実践しています。

今回、皆さまに私たちの環境保全への取り組みを知っていただくために、この「長崎支店環境アクションレポート」を発行しました。皆さまの率直なご意見、ご感想をお待ちしております。

私たちは、今後とも地域の皆さまのご理解とご協力を得ながら、環境に優しい企業活動を推進していく所存です。

2007年6月

執行役員長崎支店長
池松 勢三郎



第1章／長崎支店の概要 2

1. 長崎支店概要
2. 組織
3. 長崎支店と環境との関わり
4. 長崎支店環境方針

第2章／環境活動のしくみ 6

1. 環境マネジメントシステム 6
 - (1) 運用体制
 - (2) 環境マネジメントシステムの導入とISO14001認証取得
 - (3) 内部環境監査
 - (4) 環境教育
 - (5) 外部審査
2. 環境目的・目標の計画と実績 8
 - (1) 2006年度の実績と評価
 - (2) 2007年度の計画

第3章／環境活動への取り組み 10

1. 循環型社会形成への取り組み
2. 省エネ・省資源への取り組み
3. 地域社会との協調

第4章／長崎支店におけるISO14001認証取得の経緯 13



表紙の写真について

■ペーロン大会

長崎の夏の風物詩で26人の漕ぎ手が銅鑼と太鼓の音に合わせて一斉に櫂をかき、競い合います。毎年6月上旬から長崎市内各地で開催され、当社からも締めくくりとなる「長崎ペーロン選手権大会職域の部」に参加しています。

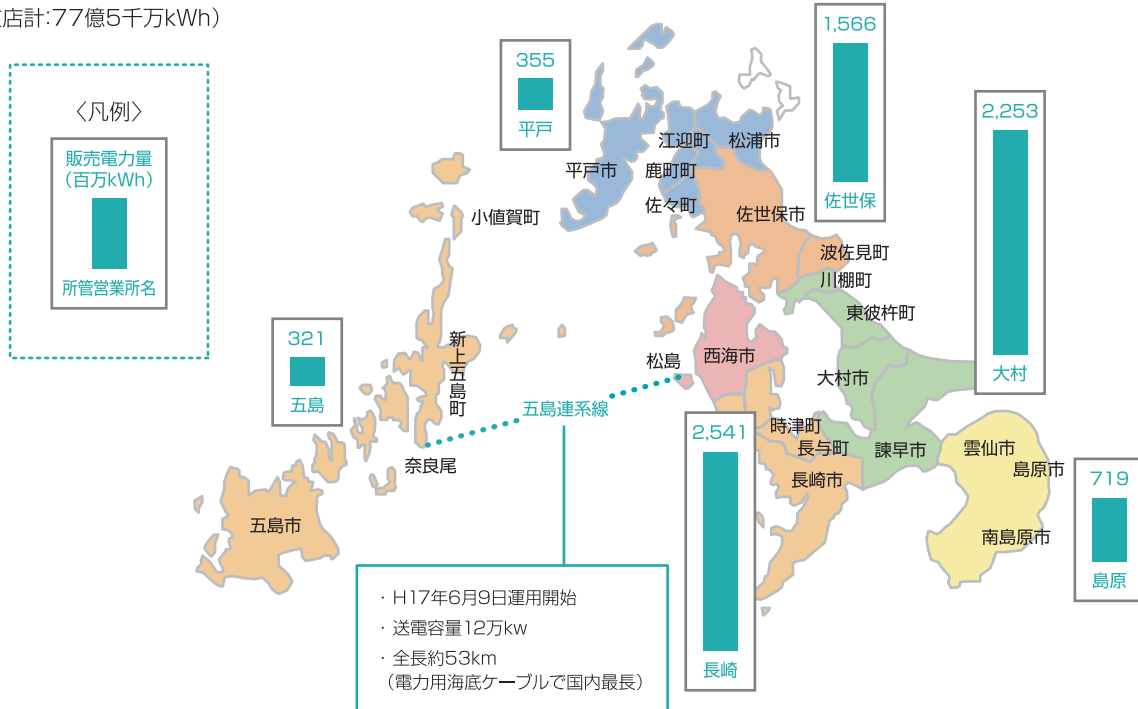
第1章／長崎支店の概要

1. 長崎支店概要

- 長崎支店の供給区域は、長崎県（13市10町、計23市町）のうち離島の杵岐市・対馬市を除く11市10町。
- 長崎県の面積は、4,091km²（九州の9.7%を占める）。
- 長崎支店の供給区域は、その8割の約3,200km²。

■ 営業所別販売電力量（2006年度）

（支店計：77億5千万kWh）



《 管内営業所・電力所 》

- 長崎支店管内の営業所は、6箇所（2007年3月末）
電力所は、2箇所、工務所は1箇所。

《 管内発電所 》

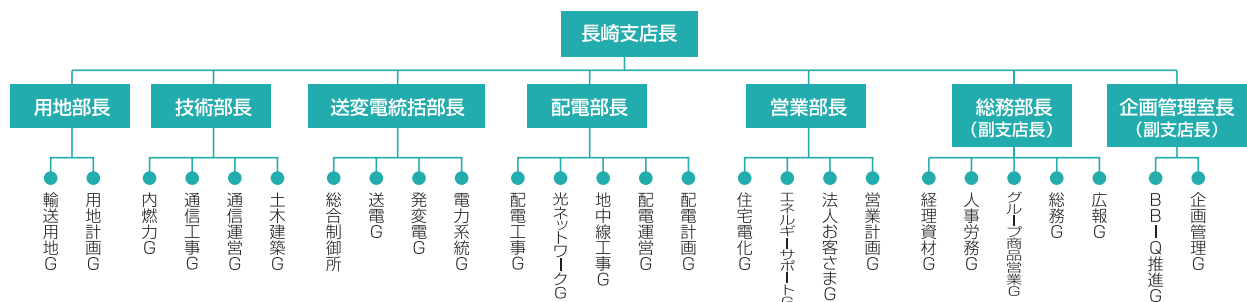
- 長崎支店管内で実働している発電所は、火力発電所が2箇所（相浦・松浦）と、内燃力発電所が1箇所（宇久）水力発電所が6箇所（千々石第1～5、鰐川）の計9箇所。
- 内燃力発電所は、五島連系線運開後に2箇所が廃止（有川、福江）、2箇所が休止（新有川、福江第二）。

2. 組織

支店職場では、主に営業所、電力所など業務の管理、指導を行っています。

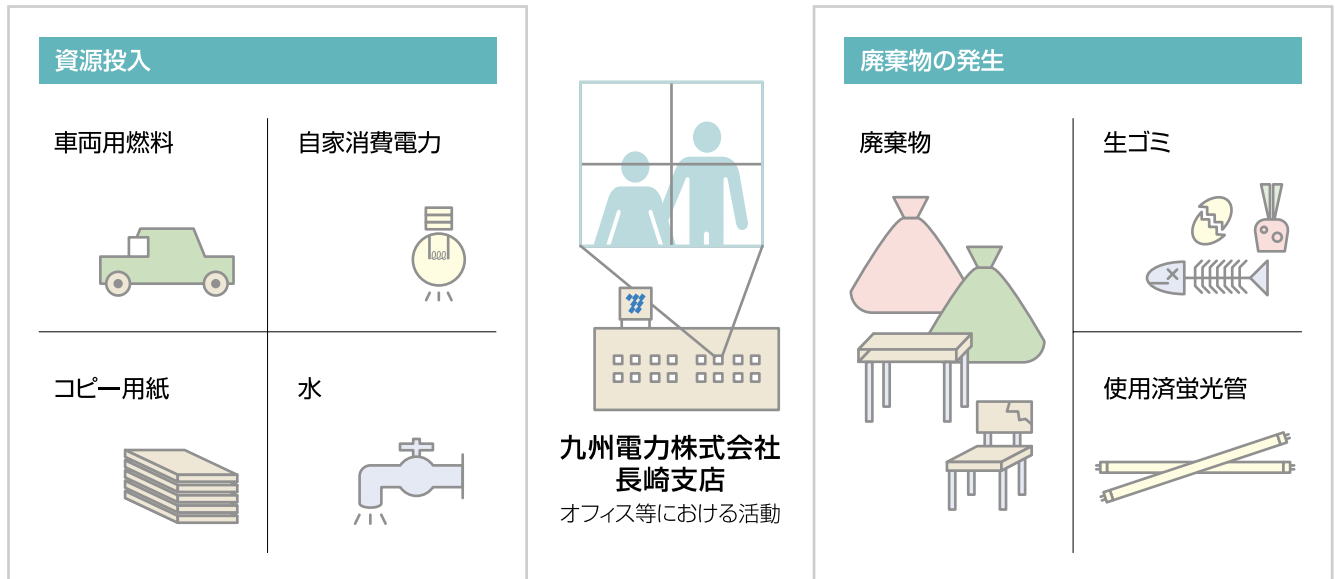
長崎支店職場の組織は以下のとおりです。

※従業員数：252名

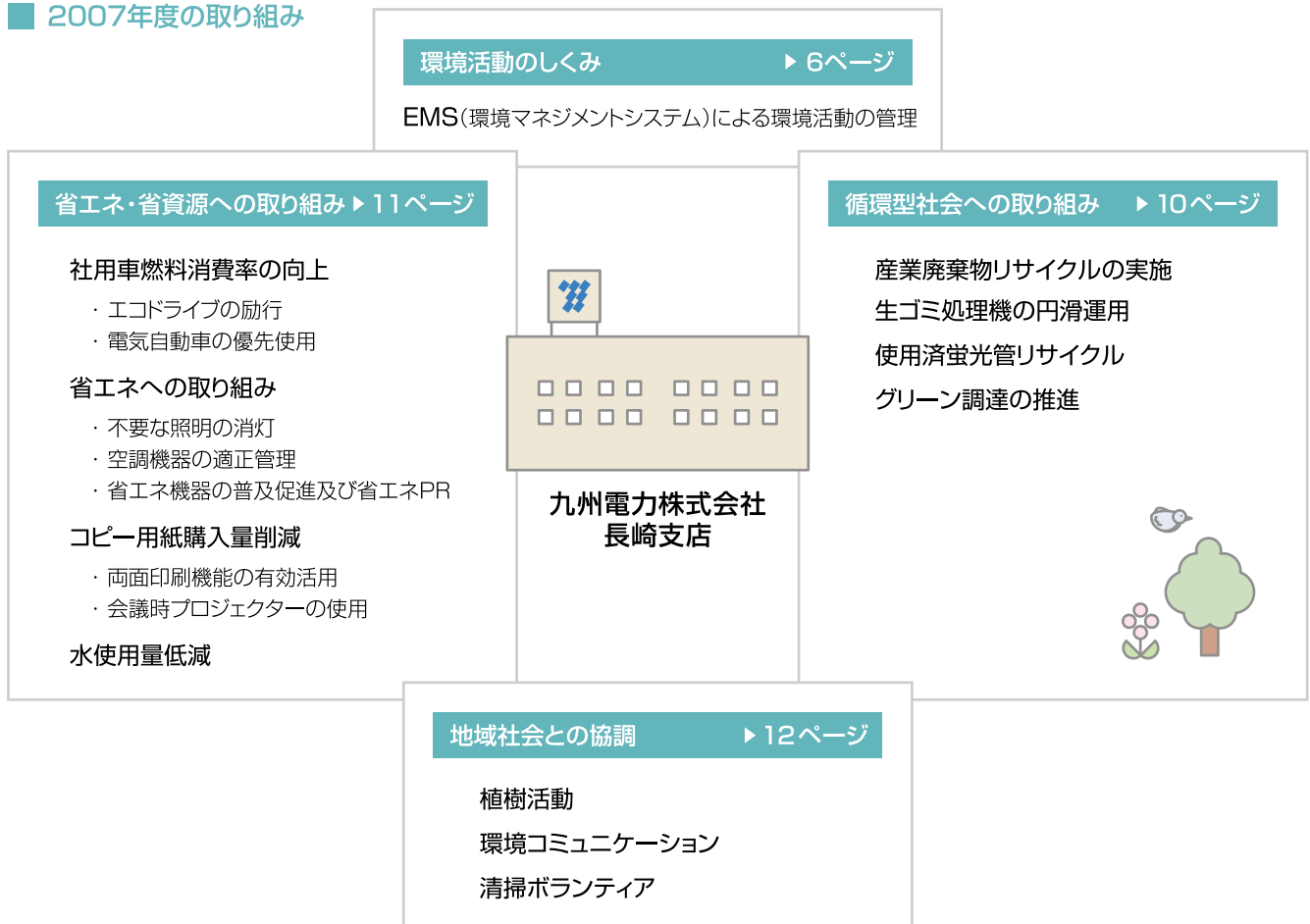


3. 長崎支店と環境との関わり

■ 環境との関わり



■ 2007年度の取り組み



4. 長崎支店環境方針

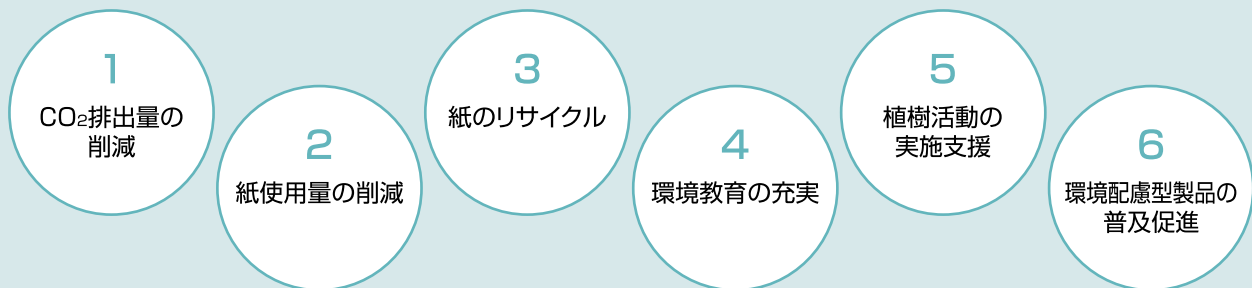
長崎支店では、環境に対する職場の特徴及び職場がもたらす環境影響を明らかにし、環境に対する行動についての約束ごとを明確にした、「環境方針」を2002年2月に制定しました。

長崎支店では、以下のような考え方に基づいて環境保全活動に取り組んでいます。

ISO14001 規格要求事項

- a. 組織の活動、製品及びサービスの、性質、規模及び環境影響に対して適切である。
- b. 継続的改善及び汚染の予防に関するコミットメントを含む。
- c. 組織の環境側面に関係して適用可能な法的要求事項及び組織が同意するその他の要求事項を遵守するコミットメントを含む。
- d. 環境目的及び目標の設定及びレビューのための枠組みを与える。
- e. 文書化され、実行され、維持される。
- f. 組織で働く又は組織のために働くすべての人に周知される。
- g. 一般の人々が入手可能である。

長崎支店における環境影響活動



《 その他の社内方針等とも整合を図っています 》

環境アクションプラン	九州電力環境憲章	長崎支店中期事業計画
<ol style="list-style-type: none">1. 環境経営の推進2. 地球環境問題への取り組み3. 循環型社会形成への取り組み4. 地域環境との共生5. 社会との協調	<ol style="list-style-type: none">1. 全ての事業活動において、環境保全意識の重要性を認識します。2. 全ての事業活動において、豊かな環境の実現を目指します。3. 全ての事業活動において、環境情報公開を積極的に推進します。	<ol style="list-style-type: none">1. お客様の確保と新規需要の創出2. 供給信頼度の維持3. CSR(企業の社会的責任)の推進

環境方針

理念

九州電力株式会社長崎支店は、安定した電力の供給を通じて、お客さまから信頼され認められる企業を目指した事業活動を展開しています。

さらに、すべての事業活動において、環境保全意識の重要性を認識し、長崎の緑豊かな自然に配慮した、環境に優しい企業活動を推進してまいります。

基本方針

- 1 長崎支店の事業活動が環境に与える影響を常に認識し、環境マネジメントシステムの継続的な改善を図り、環境保全に努めます。
- 2 事業活動にあたっては、九州電力環境憲章に基づき、環境に関する法規制等を遵守します。
- 3 地球の資源を利用した事業活動を行っていることを認識し、消費活動によるCO₂排出量及び紙使用量の削減とリサイクルを推進し、循環型社会づくりに努めます。
- 4 地域社会との対話を大切にし、環境教育の充実、植林活動の実施支援、環境配慮型製品の普及促進に努めます。
- 5 この環境方針を達成するために、環境目的・目標を定め、環境に配慮した行動を推進するとともに、目的・目標は定期的に見直し、環境保全活動の質の向上に努めます。

平成18年 5月 8日

九州電力株式会社長崎支店 執行役員長崎支店長

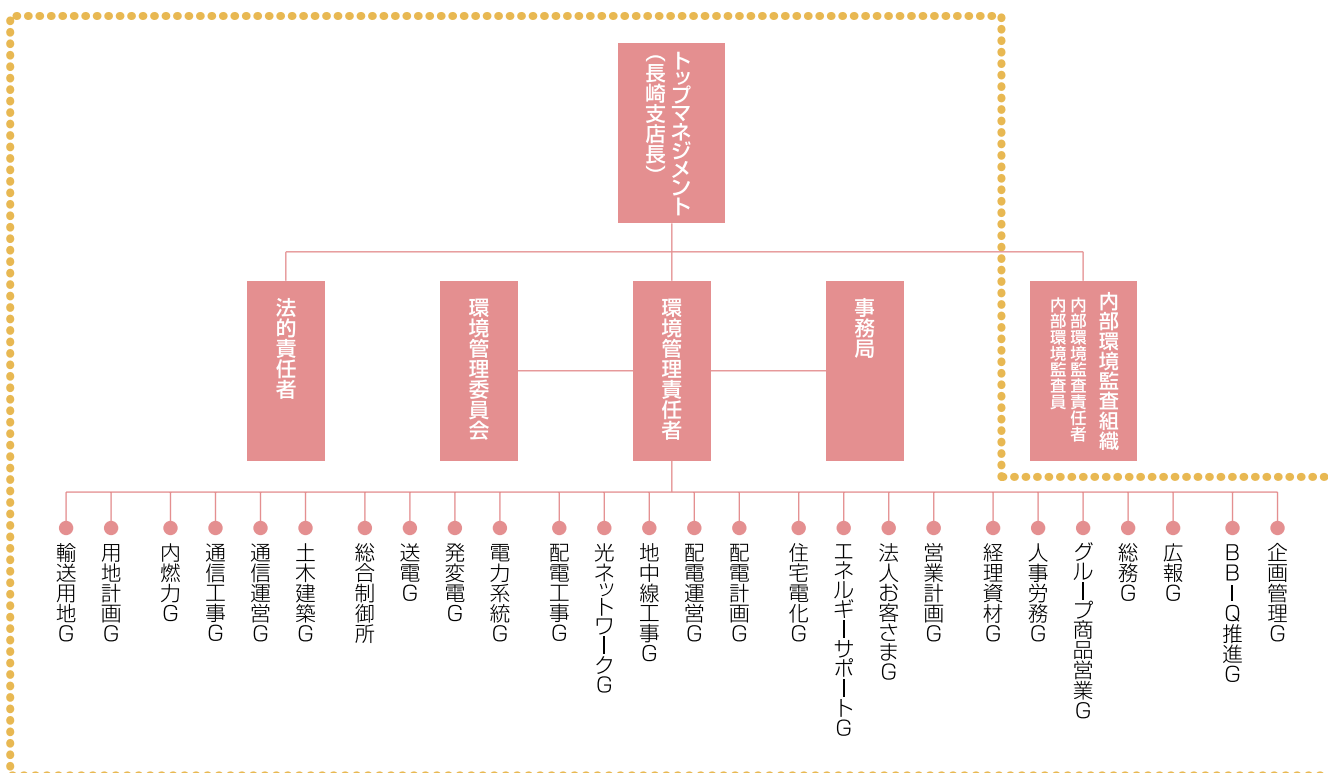
この環境方針は長崎支店の組織のために働く人へ文書化し周知するとともに、一般の方へ公開します。

第2章 / 環境活動のしくみ

1. 環境マネジメントシステム

(1) 運用体制

支店長をトップとして支店長が任命したEMSに関する責任者である環境管理責任者のもと、支店職場で業務する所員が協力して環境活動を実施しています。

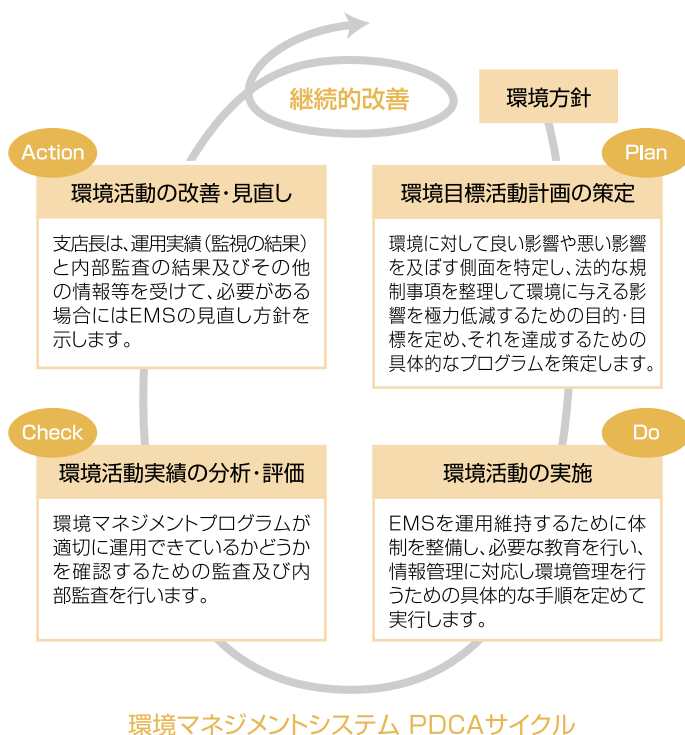


(2) 環境マネジメントシステムの導入と ISO14001 認証取得

長崎支店では、事業活動全般にわたって企業の成長と環境を両立させる「環境経営」を推進していくために、環境保全活動を継続的に実施、改善するための、体制や手順を含む体系的な仕組みである、環境マネジメントシステム (EMS) を導入しています。

EMSで環境保全活動についてPDCAサイクルを繰り返すことにより、支店所員の環境に対する意識を高め、継続的な環境改善活動に繋がっています。

このシステムを2002年3月に導入し、7月に国際規格であるISO14001の認証を取得しています。



(3) 内部環境監査

支店長が任命した「内部環境監査責任者」を中心とした「内部環境監査組織」が、環境監査を年1回実施しています。この監査では、長崎支店における環境管理がISO14001規格の要求事項に適合し、適切に実行・維持されているか確認しています。また、監査による指摘事項については、都度見直しを行い、継続的なシステムの改善に努めています。

内部環境監査責任者から一言

長崎支店EMSの内部環境監査については、内部環境監査員研修を修了した者、かつ、監査に当たっては監査対象箇所に所属していない者が行うなど、その能力や客観性、独立性を保ち実施しています。

監査は原則として年1回実施しており、「ISO14001の要求事項が十分理解されているか」「法規制を遵守しているか」「前回監査の指摘事項が改善されているか」などをチェックしています。

2006年度の内部環境監査は、2人が1チームとなって4チームで実施しました。各チームの監査能力レベルが高くかつ均一である必要があり、事前の打合せやチェックリストの作成に十分な時間をかけて行うことがいかに重要であるか痛感しました。

事業所をめぐる環境や業務内容は、大きくはないにしても必ず変化しています。

過去の監査の結果にとらわれることなく、現時点での状況をしっかり把握して監査を実施することを心がけています。また、単に不具合を見つけるだけでなく、工夫しうまく機能していることについては他の部門へ水平展開するなど、良い面での評価も積極的に行っていくべきであると考えています。



長崎支店内部環境監査責任者／生野 義伸

(4) 環境教育

環境保全の重要性及びEMSを理解して活動していくために、EMSに関する教育や、各所員に応じた各種の教育・訓練を定期的実施しています。

また、設備事故や自然災害に起因する当社施設の被害は、周辺環境に影響を与えることも考えられるため緊急時を想定した訓練を定期的実施しています。

※1 EMS内容教育

EMSに関しての所員の力量を確保するために行う教育で、年に1回全所員を対象にEMSの必要性、目的・目標の周知などを行っています。

※2 内部環境監査員養成研修

EMSのシステムが的確に運用されているか確認するための内部監査を実施する上で、監査員の力量を確保するために実施している研修です。

※3 ISO関係社外研修

専門的な知識を要するISOの要求事項を確実に理解するために、ISO認証機関が実施している研修に参加しています。

主な教育訓練

自覚教育	適切な訓練	力量の確保	項目	頻度	2006年度実績
○	—	—	EMS内容教育*1	1回/年	5~6月実施
○	—	○	環境管理責任者EMS専門研修	1回/年	2005年度受講済
○	—	○	環境担当者EMS専門研修	1回/年	9月受講
○	—	○	環境管理委員教育	1回/年	4月実施
—	○	—	緊急事態対応訓練	都度	11月実施
—	—	○	内部環境監査員養成研修*2	都度	9~11月受講
○	—	○	ISO関係社外研修*3	都度	10月受講

(5) 外部審査

2002年7月のISO14001認証取得以降、毎年、第三者の審査機関からEMSが適切に実行され、維持されていることを定期審査により確認を受けています。

審査での指摘事項については、都度見直しを行い、継続的なシステムの改善に努めています。

さらに、認証の有効期間が3年であることから3年目である2005年度には更新審査を受審し更新継続しています。

外部審査機関による受審状況

	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度
認証取得	○				
更新審査				○	
定期審査		○	○		○

2. 環境目的・目標の計画と実績

環境管理活動上、支店が重点的に取り組むべき課題に対して、目的・目標を定め環境活動に取り組んでいます。

(1) 2006年度の実績と評価

2006年度EMS目標の取り組み結果

	活動内容	目標値	実施方法	実績
省エネ・省資源への取り組み	社用車燃料消費率の向上	13.08km/ℓ (2005年度実績から 0.1km/ℓ以上向上)	・公共交通機関の利用 ・電気自動車の優先使用 ・エコドライブの励行	13.36km/ℓ (達成率:102.1%)
	電気自動車の活用促進	稼働率を60%以上とする	・電気自動車の活用	60.3% (達成率:100.5%)
	コピー用紙購入量の削減	12,586kg (2005年度実績から 240kg以上削減)	・両面印刷機能の有効活用 ・会議時のプロジェクター使用 ・裏面コピー用紙の優先使用 ・不必要なプリントアウトの防止	12,830kg (達成率:98.1%)
	省エネコンサル活動推進	省エネコンサルを 27ポイント以上とする	・省エネコンサルの実施 (コンサルの内容によって点数を設定)	28ポイント (達成率:103.7%)
	デマンドコントロール*1の普及促進	紹介実績を45件以上とする	・デマンドコントロールの紹介活動	43件 (達成率:95.6%)
	エコキュート*2の普及促進	エコキュートの販売促進活動 (実績管理)	・エコキュートの販売促進活動	3,683件
	誤検針減少対策の指導	低圧誤検針率 0.003% 高圧誤検針件数 9件	・誤検針減少対策指導	低圧:0.003% 高圧:7件 (達成率:100%・128.6%)
	停電事故発生件数の減少指導	低圧停電事故 1,692件以下 48分/件以下 高圧停電事故 47件以下 85分/件以下	・停電事故発生件数減少指導	低圧:2,070件・71分 (達成率:81.7%・67.6%) 高圧:72件・89分 (達成率:65.3%・95.5%)
循環型社会への取り組み	産業廃棄物の共同回収時の分別の徹底	産廃リサイクル率を 74%以上とする	・共同回収時の分別徹底	92.3% (達成率:124.7%)
	使用済蛍光管リサイクルの普及促進	紹介実績を35件以上とする	・使用済蛍光管リサイクルの紹介活動	10件 (達成率:28.6%)
地域社会との協調	植樹活動の実施	植樹を1万本以上とする	・植樹活動	10,000本 (達成率:100%)
	大学生への「エネルギーと環境活動」講座による理解活動	講座受講者を 700名以上とする	・大学生への講演会実施	816名 (達成率:116.6%)
	原子力発電所の必要性に対する理解活動の促進	原子力発電所見学者を 3,250人以上とする	・原子力発電所見学会	4,440人 (達成率:136.6%)

※1 デマンドコントロール 電力の利用状況を把握し、負荷の平準化を図り、電力ピークを抑える装置。

※2 エコキュート 熱交換機で大気熱を汲みあげ、コンプレッサで熱エネルギーをつくる環境にやさしく高効率なヒートポンプ式給湯器。

※3 エコライト 手動発電、充電方式やLED(発光ダイオード)を採用し、省エネ・長寿命を特徴とするライト。

(2) 2007年度の計画

2007年度の計画は以下のとおりとし、活動することとしました。

2007年度EMS目標

	活動内容	目標値	実施方法	備考
省エネ・省資源への取り組み	社用車燃料消費率の向上	13.46km/ℓ (2006年度実績から 0.1km/ℓ以上向上)	・公共交通機関の利用 ・電気自動車の優先使用 ・エコドライブの励行	2006年度実績が 目標未達のため再度実施
	コピー用紙購入量の削減	12,586kg (2005年度実績から 240kg以上削減)	・両面印刷機能の有効活用 ・会議時のプロジェクター使用 ・裏面コピー用紙の優先使用 ・不必要なプリントアウトの防止	
	省エネコンサル活動推進	省エネ診断を 5件以上とする	・省エネ診断の実施	
	デマンドコントロールの普及促進	紹介件数30件以上とする	・デマンドコントロールの紹介活動	
	エコキュートの普及促進	エコキュートの販売促進活動 (実績管理)	・エコキュートの販売促進活動	
	エコライト ^{※3} の普及促進	紹介件数を60件以上とする	・エコライトの販売促進活動	
循環型社会への取り組み	産業廃棄物の共同回収時の分別の徹底	産廃リサイクル率を 95%以上とする	・共同回収時の分別徹底	
	使用済蛍光管リサイクルの普及促進	紹介実績を20件以上とする	・使用済蛍光管リサイクルの紹介活動	
地域社会との協調	植樹活動の実施	植樹を1万本以上とする	・植樹活動	
	大学生への「エネルギーと環境活動」講座による理解活動	講座受講者を 700名以上とする	・大学生への講演会実施	
	各種清掃活動を通じた地域環境美化の推進	清掃ボランティアの実施 (実績管理)	・清掃ボランティアの実施	
	環境アクションレポート(長崎支店版)を活用した環境活動のPR	環境活動PR (実績管理)	・環境アクションレポート(長崎支店版)を活用した環境活動のPR	

◎2007年度は2006年度の目標値の達成度合い、支店職場の業務で環境に影響が大きい項目、所員が環境活動と認識しやすい項目などを総合的に勘案し目標を見直しました。

第3章／環境活動への取り組み

1. 循環型社会形成への取り組み

当社は資源の消費を抑制し、環境への負荷ができる限り低減される「循環型社会」形成の必要性を十分に認識し、廃棄物の最終処分量を限りなくゼロに近づける「ゼロエミッションへの挑戦」をスローガンに、事業活動で発生する廃棄物の発生抑制 (Reduce:リデュース)、再使用 (Reuse:リユース)、再利用 (Recycle:リサイクル) の3Rを促進しています。

(1) コピー用紙購入量削減への取り組み

コピー用紙については、電子承認文書システムの使用、両面印刷機能の有効活用、裏面コピー用紙の優先使用、会議時におけるプロジェクターの使用などにより、コピー用紙の発生抑制に努めています。

また、発生した古紙についてもリサイクル率100%に向けた取り組みを実施しています。

(2) 産業廃棄物の適正処理

当社では、恒常的に発生している特定種類の品目を、エリアごとに回収 (共同回収) の上、リサイクル会社へ一括して持ち込むことで、リサイクル率の向上を図っています。

長崎支店から発生する産業廃棄物は、可能な限り分別を徹底し、共同回収を有効に活用することで、リサイクル、リユースを促進するとともに、取引先の処理が適正に行われていることをマニフェストで確認し、極力最終処分量を削減する取り組みを実施しています。

(3) 使用済蛍光管リサイクル

使い終わった蛍光管は、ガラス、蛍光体、水銀などに再資源化し、再び蛍光管として使用できるようにリサイクルを行っています。

(4) グリーン調達への推進

当社は循環型社会の形成に資することが自らの責務であると認識し、製品等の調達においても環境に優しい製品等の調達を図る「グリーン調達」を積極的に推進しています。

(5) 生ごみ処理機の円滑運用

長崎支店では、食堂から発生する生ごみについて、生ごみ処理機で、バイオ (微生物) を使って分解消滅させています。



FSC (森林管理協議会) の認証を取得した当社社有林の間伐材で製作したテーブル



生ごみ処理機

2. 省エネ・省資源への取り組み

長崎支店では、地球の資源を利用した事業活動を行っていることを認識し、温室効果ガスを削減するための取り組みも実施しています。

(1) 社用車燃料消費率の向上

長崎支店では経済速度での走行、アイドリングストップなどのエコドライブの励行や、電気自動車の優先使用などで燃費を向上させることにより温室効果ガスの削減に努めています。

2006年度のガソリン燃料消費率は13.36km/ℓで2002年度と比較して1.11km/ℓ向上しました。



電気自動車

(2) 省エネ機器の普及促進及び省エネPRの実施

ヒートポンプ給湯器など省エネ機器の普及促進、お客さまへの省エネコンサル等を実施し、CO₂の排出抑制に努めています。



エコキュート

EMS事務局から一言

私は、2年前に長崎支店のEMS事務局となりました。初めの頃は、EMSやISO14001というものが何なのかさえも分からない状況でした。また、専門的な知識が必要で、意味が分からない用語なども多く、非常に苦労しましたが、社外講習に参加したり、EMSを熟知している先輩に教えてもらったりすることで、ようやく、ある程度ではありますが、理解することができたと感じています。

支店という部所は、主に事務所内作業が多く、環境に対する取り組みも他所と比べて限られているというのが現状で、所員が環境活動と理解し、実施していく項目を見つけていくことに苦慮しています。

これからは、各部所が業務を遂行することで、環境に良い影響を与える項目を中心に活動を実施し、これまでよりも良い環境活動ができるように、継続的にEMSのシステムを改善していきたいと考えています。



長崎支店EMS事務局／山川 雄大

3. 地域社会との協調

長崎支店では、地域社会との対話を大切にし、環境教育の実施、植樹活動の実施などにも取り組んでいます。

(1) 環境に関するコミュニケーションの推進

当社の環境に対する取り組みや、環境に優しい原子力発電などをテーマに、県内の大学でセミナーや講演活動を行っています。2006年度は816名の大学生に受講していただきました。

(2) 植樹活動の実施

当社では2001年度に創立50周年を迎えました。これを記念して、10年間で100万本の植樹を行う「九州ふるさとの森づくり」を展開しており、「地域の緑化に寄与する」、「地域との連携により、地域の方々との結びつきを一層深める」、「植樹活動を通じ、地域とともに環境保全問題へ取り組む」ことを目的に地域の皆さまと一緒に植樹活動に取り組んでいます。

これに伴い、長崎支店でも10年間で10万本の植樹を実施することとしており、2001年度からの6年間で、総勢約8,000名の方々にご協力いただき、約62,000本の植樹を実施しています。



植樹活動

(3) 清掃ボランティアの実施

環境美化活動の一環として、地域のみなさまと協力し、悟真寺国際人墓地（ロシア人墓地）の清掃を実施しています。

また、配電部独自の活動として、毎月1回電気ビル周辺の清掃活動を実施しており、2006年度にボランティア団体より表彰を受けています。



清掃活動

第4章／長崎支店におけるISO14001 認証取得の経緯

認証取得の主要経緯

2001年	7月	長崎支店におけるISO14001 認証取得を社内決定
2001年	10月	支店長によるISO14001 認証取得の取り組み表明
2002年	2月	「環境方針」制定
2002年	3月	「環境管理基準」制定
2002年	5月	認証機関による事前審査
2002年	6月	本審査
2002年	7月24日	認証取得
2003年	6月	1年次サーベイランス
2004年	6月	2年次サーベイランス
2005年	6月	更新審査
2006年	6月	更新後1年次サーベイランス

環境管理責任者から一言

当社は、環境活動を経営の重要課題の一つと位置づけ、環境に配慮した業務運営を展開しております。その一環として、環境マネジメントシステムを全社で構築しています。

長崎支店では、2002年7月24日にISO14001を認証取得し、現在まで1度の更新審査、3度の定期審査を受審し、認証を継続しています。

これまで支店長のリーダーシップのもと、毎年環境目的、目標を掲げ、様々な環境改善活動に取り組んでいます。また、環境活動を通じて、支店職場の全社員が自らの活動による環境への影響を総合的に評価、把握し、環境意識の向上が図れています。

今後も、環境活動に対して、継続的な改善を図っていき、更に環境に優しい職場を目指していきたいと考えています。

長崎支店環境管理責任者／高田 和馬



ずっと先まで、明るくしたい。



九州電力
環境活動シンボルマーク

このシンボルマークは、九電グループが取り組む4つの事業領域（総合エネルギー事業、情報通信事業、環境・リサイクル事業及び生活サービス事業）を「4つ葉のクローバー」でデザインしたもので、クローバーの茎は、Energy、Ecologyなどの「e」を意味し、九州電力がグループ全体の事業活動を通じて環境活動を推進していく姿勢を表現しています。

本レポートについてのご意見・お問い合わせ先

九州電力(株)長崎支店

総務部 総務グループ

TEL(095)864-1810

ホームページ <http://nagasaki.kyuden.co.jp/>



みんなで止めよう温暖化

チーム・マイナス6%

九州電力はチーム・マイナス6%に参加しています。



Kyushu Environmental Management Corporation
このレポートは、九電グループで発生・回収した古紙を利用し、再生した用紙を活用しています。



古紙パルプ配合率100%再生紙を使用



印刷用インキは、環境にやさしい大豆油インキを使用しています。